

令和七年十二月号

《第百五十六号》

しるへび

宗教法人岩國白蛇神社

〒740-0017

今津町六丁目4-2

☎ 30-3333

師走の祭典・行事案内

12月

【月次祭】 九時半

二日（火）

二十六日（金）

【例祭】 十時

十六日（火）

【年越大祓】

十五時

【大掃除】 七日（日） 八時半より

【昭和天皇御製】（第一二四代）

「皇太子の結婚」

あなうれし神の御前に日の御子の

いもせの契り結ぶこの朝

日の御子の契り祝ひて人々のよろこぶ

さまテレビにて見る

「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」

国のため命ささげし人々のことを思へば胸せまりくる

（昭和三十四年）

【明治祭】

十一月三日



秋晴れのすがすがしい朝を迎へ、今年は十七名の参列を得て、明治祭が斎行されました。最初に、国歌斉唱と桃山御陵を遙拝し、修祓・献饌・祝詞奏上と続き、「豊榮の舞」が奉納されました。そして、参列者全員で明治天皇の御製十首を奉唱しました。撤饌・宮司一拝・閉式の辞が述べられ、宮司から参列お礼の挨拶と短い講話がありました。「上農は草を見ずして草を取る・・・」

【推薦図書】

『日本人なら知っておきたい』

日本の神話九選

後藤俊彦著（高千穂神社宮司）

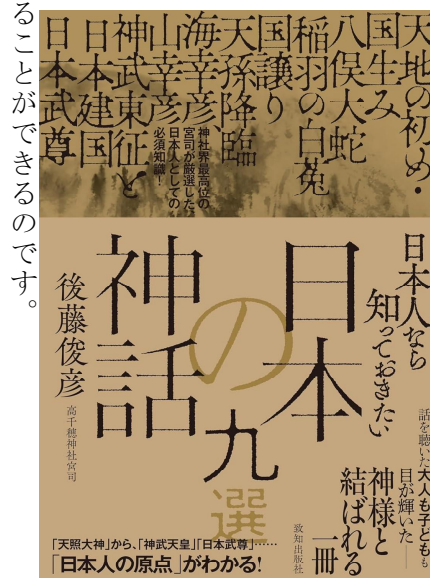
致知出版社 千五百円＋税

日本の神話を知るほど、日本人は幸せになる

美しく、豊かな神話を持っている国民は、神話と同じように、美しく、豊かな国民性を持つているものです。日本人はまさに、そのような国民と言えるでしょう。

私たち日本人は、壮大で、素晴らしい日本の神話に触れることで、美しく豊かな国民性をさらに磨くことができるのです。日

本の神話を読むということは、ある意味、日本の神話と結ばれることとも言えます。私たちは、日本の神話を知れば知るほど、強く、優しく、たくましく、安らかに生き



最近、この国で、不幸な事件が増えているのは、日本の神話知らない日本人、忘れてる日本人が増えているからなのかもしれない。であれば、今こそ、日本人が、日本の神話を読むべき時だと言えるでしょう。（まえがきより）

本居宣長の

『直毘霊』を

読む（八）



其が中に、威力あり智り深くて、人をなつけ、人の國を奪ひ取りて、また、人に奪はるまじきことばかりをよくして、しばし國をよく治めて、後の法とも為したる人を唐土には聖人とぞ云ふなる。

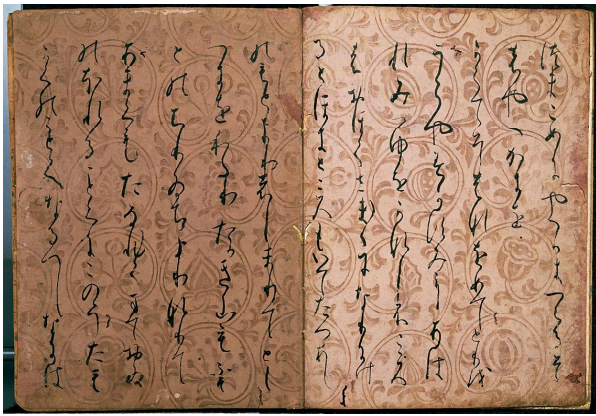
【現代語訳】

そのやうな中で、威力があり智慧が深くて人を手なづけ、他人の国を奪ひ取つて、又、他人に奪はれないやうにすることばかりを徹底させて、しばらくの期間、国を見事に統治して、後世の規範とした人を、支那では、聖人といふやうであるよ。

本居宣長と「古今和歌集（七）」

〔仮名序〕

和歌は、人の心を種として、万の言の葉とぞなれりける。世の中にある人、事・業しげきものなれば、心に思ふ事を、見るもの聞くものにつけて、言ひだせるなり。花に鶯、水に住むかはづの声を聞けば、生きとし生けるもの、いづれか歌をよまざりける。



鬼神をもあはれと思はせ、男女のなかをもやはらげ、猛き武士の心をもなぐさむるは、歌なり。
「この歌、天地の開け始まりける時より出で来にけり。しかあれども、世に伝はることは、久方の天にしては下照姫に

始まり、あらがねの地にしては、すきのをの命よりぞおこりける。ちはやぶる神世には、歌の文字も定まらず、すなほにして、言の心わきがたかりけらし。人の世となりて、すきのをの命よりぞ、三十文字あまり一文字はよみける。（以下略）

岩波文庫「古今和歌集」より



旧年の御札・お守りのお焚き上げの受付は社務所で行つてゐますが、一月十日までに
ご持参ください。

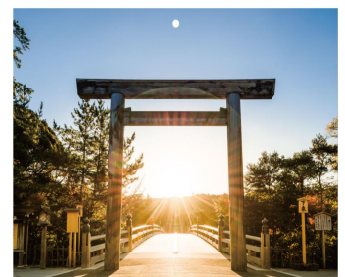
なお、お飾りの橙（だいだい）や金属等は取り外してお持ちくださいませ。
それ以降は、他のお焚き上げ施設のある神社へお願いいたします。



【臨時駐車場の案内】

一月元旦から四日（日）まで麻里布小学校校庭が臨時の駐車場となります。約七百坪の距離ですが、ご協力のほどお願い致します。

尚、二月末までは長山公園隣の旧消防署建屋周辺の空き地も駐車場としてご利用できます。



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

「神宮カレンダー」を九百円で授与していただきます。数に限りがありますので、お早めに。

神宮大祓（お伊勢さまの御札）を授与してゐます。（一体千円）



昨年の御札も預かつてゐます。社務所にご持参ください。

恒例の年末大掃除を神社総代と保存会と一緒に七日（日）の八時半より一時間程度行ひます。

また、元日から四日間駐車場の案内係を募集してゐます。場所は神社周辺と旧消防署建屋周辺です。ご協力をお願い致します。

